

# 2024年度 環境経営レポート

対象期間 : 2024年 3月～2025年2月

発行日 : 2025年 5月12日

改訂日 : 2025年 11月5日



株式会社 原田工業所

快適な生活環境を作り出す設備技術で  
まるで自然の中にいるような…。  
心地よさを作ることが出来たら…。

決して大袈裟ではない、究極の快適空間を  
更なる技術の探求とともに、  
私たちは提供し続けていきたいと考えています。

## 目 次

組織の概要	1
認証・登録の対象範囲	1
主な環境負荷の実績	1
実施体制図	2
役割・責任・権限	2
環境経営方針	3
環境経営目標と環境経営計画	4
環境経営計画の取組と結果の評価並びに 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	5
主な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	6
環境関連法規等の違反、訴訟等の有無	6
代表者による全体の評価と見直し・指示	6

## 【組織の概要】

- (1) 名称及び代表者名  
名称 株式会社 原田工業所  
代表者氏名 代表取締役 原田 高幸
- (2) 所在地  
本社 兵庫県西宮市青木町1番23号
- (3) 環境管理責任者及び連絡先  
環境管理責任者 取締役技術部長  
連絡先 総務部  
TEL:0798-34-7181 FAX:0798-36-5280
- (4) 事業内容  
管工事業 兵庫県知事(特-4)第202670号  
土木工事業 兵庫県知事(般-4)第202670号  
水道施設工事業 兵庫県知事(般-4)第202670号
- (5) 事業規模
- | 活動規模   | 単位             | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|--------|----------------|--------|--------|--------|
| 工事等の件数 | 件              | 46     | 75     | 57     |
| 売上高    | 百万円            | 380    | 230    | 388    |
| 従業員    | 人              | 8      | 8      | 8      |
| 床面積    | m <sup>2</sup> | 304.69 | 304.69 | 304.69 |
- (6) 事業年度  
3月～翌年2月

## 【認証・登録の対象範囲】

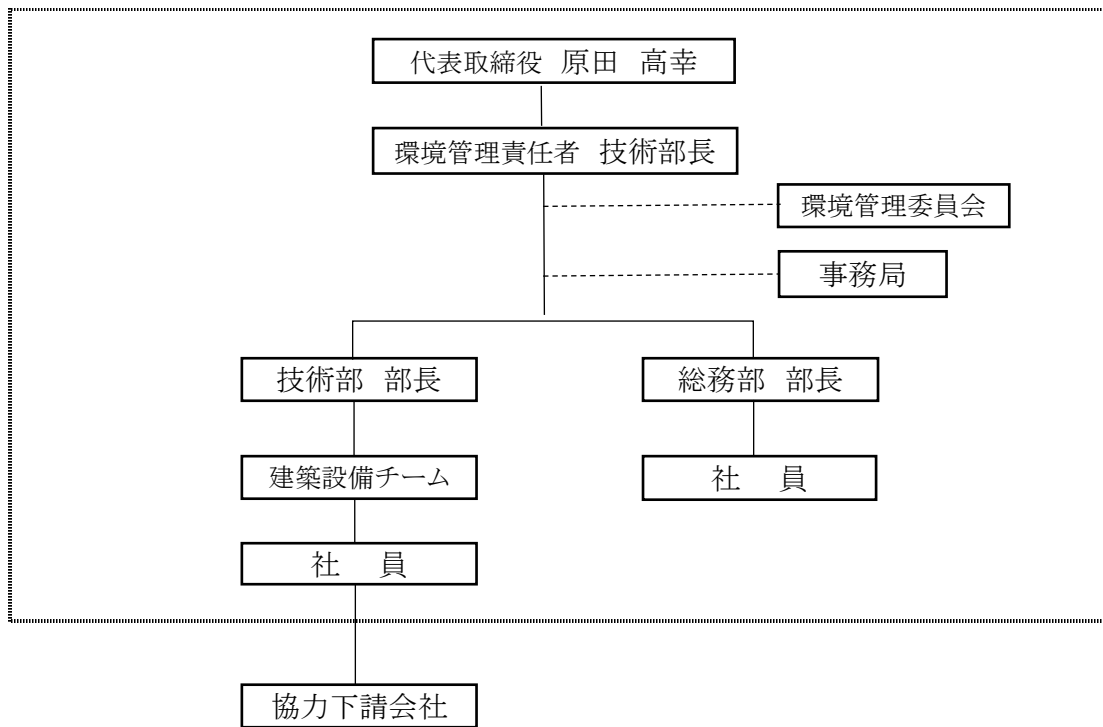
登録組織名 : 株式会社 原田工業所  
対象事業所 : 本社  
対象事業活動 : 冷暖房・空調・換気・給排水衛生・プラント設備に関する設計及び施工

## 【主な環境負荷の実績】

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量 電力・ガソリン・軽油・都市ガス	kg-CO <sub>2</sub>	18,706	20,238	16,571
二酸化炭素排出係数(関西電力)	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.334	0.334	0.334
一般廃棄物排出量	t	1.31	1.16	1.10
産業廃棄物排出量		8.21	17.58	6.07
水使用量	m <sup>3</sup>	159	159	125

0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWh:2018年関西電力排出係数・調整後

## 【エコアクション21環境経営システム実施体制図】



## 【役割・責任・権限】

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の制定、改定及び従業員への周知</li> <li>エコアクション21環境経営システム全体の取り組み状況の定期的評価、見直し</li> <li>取組を適切に実行するための資源(人、もの、金)の準備</li> <li>環境経営目標、環境経営計画の承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営目標・環境経営計画書の制定</li> <li>環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施の確認</li> <li>緊急事態のテスト・訓練の実施</li> <li>環境管理委員会の招集</li> </ul>
エコアクション21事務局担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営活動の実績集計</li> </ul>
各部門社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針に基づく行動、教育の実施</li> <li>自主的・積極的な環境経営活動への参加</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営方針(環境経営目標・環境経営計画書)の策定</li> <li>教育・訓練の実施</li> </ul>

## 【環境経営方針】

### 1. 経営基本方針

我々は、「より良い品質を、より安く、安全に」を基本に、活力ある企業として、常に創意工夫を重ね、お客様のご要望にお応えすると共に、魅力ある品質の提供、環境負荷の低減、そして無事故・無災害を最大の目標として、地域社会の発展に貢献します。

### 2. 環境理念

当社は環境活動を経営の最重要課題の一つと位置づけ、環境への取組と環境負荷の削減に努め、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。

### 3. 行動指針

当社は経営基本方針並びに環境理念に基づき、次の項目に取組みます。

- (1) 環境関連法規制等を遵守します。
- (2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、汚染の予防と継続的改善に努めます。
- (3) 事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取組みます。

重点項目は①③⑤

- ① 二酸化炭素排出量の削減(電気・ガソリン)
- ② 紙資源の節約
- ③ 廃棄物排出量の削減(廃棄物の分別の徹底と削減)
- ④ 上水使用量の削減
- ⑤ 環境配慮した工事の推進
- ⑥ 全ての建設現場において環境への取組を自己チェックし、環境負荷を削減する。

- (4) この環境経営方針は当社全従業員に周知するとともに、環境経営レポートを公開します。

2010年6月1日 制定

2020年12月3日 改定

株式会社 原田工業所

代表取締役 **原田 高幸**

## 【環境経営目標】

環境経営目標	単位	2023年度 (基準年度)	目標					
			2024年度		2025年度		2026年度	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	20,238	20,036	-1%	19,833	-2%	19,631	-3%
電力使用量の削減 (本社事務所)	kWh	20,946	20,737	-1%	20,737	-1%	20,737	-1%
自動車(ガソリン)燃費の向上 ※1(全社)	km/ℓ	15.9	15.7以上	-	15.7以上	-	15.7以上	-
自動車(ガソリン)使用量(全社)	ℓ	4,206.2	- (※1)					
自動車走行距離(全社)	km	66,882						
紙資源の節約 コピー用紙使用量の削減 ※2	冊/A4	84.0	84.0	-	84.0	-	84.0	-
廃棄物排出量の削減 産廃の分別の徹底度(建設現場)	%	100	100	-	100	-	100	-
一般廃棄物の分別の徹底度 (全社)※3	%	100	100	-	100	-	100	-
上水使用量削減(本社事務所)※2	m <sup>3</sup>	159.0	159.0	-	159.0	-	159.0	-
環境配慮した設備工事の推進 ※4	%	-	100	-	100	-	100	-

- ※ 化学物質管理促進法該当の化学物質の使用はないため目標除外しています。  
 ※ 電力の二酸化炭素排出係数は0.334 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(関西電力2018年度・調整後)を使用しました。  
 二酸化炭素排出量には都市ガスを含みます。都市ガスは使用量が少量である為目標除外しています。  
 ※1 自動車燃料使用量は工事量の増減により大幅な変動がある為、燃費の向上を目標とし、CO<sub>2</sub>削減します。  
 ※2 コピー用紙使用量・上水使用量の削減は維持目標とします。  
 ※3 廃棄物の分別はダンボール、紙、プラスチック等の再生可能廃棄物分別の実施。  
 ※4 工事毎に騒音・振動、水質汚濁、大気汚染、建設廃棄物に関する取組を項目毎に点数評価し算出。  
 ポイント% = 工事数 × 実績評価点 / 評価点 × 100

## 【環境経営計画】

下記活動を全期にて行う

環境経営目標	達成手段	責任者
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	電力使用量の削減 (本社事務所) 1.冷・暖房時の適切な温度管理 2.空調機フィルター清掃1回/月 3.冷房時ブラインド降ろす。 4.部分消灯 5.不使用時消灯(パソコン含む) 6.退社時はパソコン他電源を切る。	総務担当者
	自動車燃費の向上 エコドライブの徹底(アイドリングストップ・急加速・急停車の防止・過積載の防止・駐停車中のエンジン停止)	環境管理責任者
コピー用紙使用量の削減	1.印刷、コピー用紙の両面刷り 2.コピー用紙の裏面利用 3.コピー対象物・枚数の事前確認	総務担当者
廃棄物分別の徹底	1.分別対象廃棄物を決定する。 2.区分ごとに分別表示をする。 3.月4回以上実施状況を確認する。	環境管理責任者 総務担当者
上水使用量の削減	1.節水シールを貼る。 2.出しっぱなしにしない。 3.洗浄の際、洗剤を適正使用する。 4.トイレレバーの戻り確認	総務担当者
環境配慮した設備工事の推進	1.環境配慮型の建設機械の使用 2.可能な限りの環境配慮型材料等を 利用した施工の実施 3.グリーン購入(環境配慮した事務用品・資材等の購入) 4.低騒音・排出ガス対策型重機の使用 5.余剰資材のないこまめな発注 6.4S活動の実施	環境管理責任者

【環境経営目標及び環境活動計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営計画】

環境経営目標	環境経営計画に基づき実施した取組	2024年度 環境経営計画の実績				評価	次年度の環境経営計画
		単位	目標	実績	目標対比		
電力使用量の削減 (本社事務所)	1.冷・暖房時の適切な温度管理 2.空調機フィルター清掃1回/月 3.冷房時ブラインド降ろす。 4.部分消灯 5.不使用時消灯(パソコン含む) 6.退社時はパソコン他電源を切る。	kWh	20,737	19,665	-1,072 ↓	目標達成 今年度の目標を基準年対比1%減とした。結果、目標より1,072kWh減少できた。前年より1,281kWh削減できた。	次年度も基準年実績比1%減を目標とし今年度の取組を継続する。
自動車(ガソリン)燃費の向上(全社)	エコドライブの徹底 1.アイドリングストップ 2.急加速・急停車の防止 3.過積載の防止 4.駐停車中のエンジン停止	km/ℓ	15.7以上	16.3	+0.6 ↑	目標達成 今年度のガソリン使用量は基準年より60ℓ増でほぼ基準年使用量と同量であったが走行距離を2,777km増やせたことにより燃費向上でき目標達成となった。エコドライブの継続ができています。	今年度の取組を継続する。近距離現場等の移動には自転車も活用する。
	自動車(ガソリン)使用量(全社)	ℓ	-	4,266	-		
	自動車走行距離(全社)	km	-	69,659	-		
二酸化炭素排出量の削減	上記に同じ	kg-CO <sub>2</sub>	20,036	16,571	-3,465 ↓	目標達成 現場GHP試運転分の都市ガス使用が今年度はなかった分CO <sub>2</sub> 削減となった。	上記に同じ
紙資源の節約	コピー用紙使用量の削減 1.印刷、コピー用紙の両面刷り 2.コピー用紙の裏面使用 3.コピー対象物・枚数の事前確認	冊/A4	84.0	57.0	-27 ↓	目標達成 大幅に達成となった。提出物量が今期は特に少なかった為。	必要以上のコピーをとらない(必要・不要の確認)、失敗コピーを減らす等の活動を継続する。
廃棄物の分別の徹底	1.分別対象廃棄物を決定する。 2.区分ごとに分別表示をする。 3.月4回以上実施状況を確認する。	%	100	100	±0 →	目標達成 今年度産廃排出量は前年17.58tに対し大幅減となった。撤去工事の増減等工事内容により排出量は左右される。マニフェスト12枚発行し、処分を許可業者に委託した。可能な限り分別を徹底した。	分別を徹底し金属くずをリサイクルできるよう活動を続ける。
	産業廃棄物排出量	t	-	6.07	-		
一般廃棄物の分別の徹底	1.分別対象廃棄物を決定する。 2.区分ごとに分別表示をする。 3.月4回以上実施状況を確認する。	%	100	100	±0 →	目標達成 一般廃棄物に関しては削減ができた。プラ及び古紙の分別の徹底により紙ごみが大幅に削減できた。	紙の分別の徹底をさらに続ける。
	一般廃棄物排出量	t	1.14	1.10	-		
上水使用量削減	1.節水シールを貼る。 2.出しっぱなしにしない。 3.洗浄の際、洗剤を適正使用する。 4.トイレレバーの戻り確認	m <sup>3</sup>	159.0	125.0	-34 ↓	目標達成 上水使用量は大幅削減できた。	維持管理目標とする。
環境配慮した設備工事の推進	1.環境配慮型の建設機械の使用 2.可能な限りの環境配慮型材料等を利用した施工の実施 3.グリーン購入(環境配慮した事務用品・資材等の購入) 4.低騒音・排出ガス対策型重機の使用 5.余剰資材のないこまめな発注 6.4S活動の実施	%	100	100	-	目標達成 すべての工事において環境配慮事項について問題発生を未然に抑える取組を実施した工事を行うことができた。	環境配慮型重機の使用可能な限りの環境配慮型材料等を利用した施工の実施
工事件数	—	5 (元請1千万以上)	-				

実施体制：効果的であり継続する

※ 化学物質管理促進法該当の化学物質の使用実績はありません。

※ 電力の二酸化炭素排出係数は0.334 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(関西電力2018年度・調整後)を使用しました。

二酸化炭素排出量には都市ガス(2024年度49m<sup>3</sup>)を含みます。都市ガスは使用量が少量である為目標除外しています。

※ 環境配慮した設備工事の推進:工事に騒音・振動、水質汚濁、大気汚染、建設廃棄物に関する取組を項目毎に点数評価し算出。  
ポイント% = 実績評価点4 / 評価満点4 × 100 = 100%

【主な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果】

適用される主な法規等	遵守すべき要求事項	遵守評価
大気汚染防止法	特定建築材料が使用されている建築物又は工作物の解体、補修作業を行う場合の届出及び作業基準の遵守	遵守
石綿障害予防規則 (安衛法)	石綿等の事前調査、結果揭示、分析調査記録、届出及び作業基準の遵守、労働者ごとの作業記録、写真等による記録他	遵守
下水道法	政令で定める量、水質の下水道への流し込み	遵守
騒音規制法	対象工事の特定建設作業の届出、基準値85dB以下の遵守	遵守
振動規制法	対象工事の特定建設作業の届出、基準値75dB以下の遵守	遵守
消防法	危険物の貯蔵・取扱い作業の届出等	遵守
資源有効利用促進法	パソコンメーカーへの引渡しと再資源化費用負担	遵守
廃棄物処理法	保管基準、委託基準、マニフェスト発行と回収マニフェスト交付状況の報告等	遵守
家電リサイクル法	廃家電引渡しと再資源化費用負担	遵守
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器等の再資源化	遵守
建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化等	遵守
自動車リサイクル法	自動車のリサイクル及びリサイクル費用負担	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン簡易点検の実施、記録、保存	遵守
兵庫県 環境と保全と創造に関する条例 西宮市 環境基本条例	産業廃棄物の排出他	遵守
施主からの環境関連 要求事項	公共・民間工事における施主よりのマニフェスト等の発行等環境関連要求事項	遵守

【環境関連法規等の違反、訴訟等の有無】

関係機関からの環境関連法規等に関する指摘、訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。

【代表者による全体の評価と見直し・指示】

全体の評価と見直し実施日 2025.4.4

見直しに必要な事項		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の必要性
環境経営方針	環境経営方針に示された環境への取組の基本的方向は現在も適切か	適切である	変更しない	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境経営目標 及び 環境経営計画	環境経営目標・計画の達成状況は妥当か	継続実施	変更しない	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
その他の 環境経営 システム	環境経営目標・計画の達成状況は妥当か	継続実施	変更しない	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
実施体制	実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか	実施体制は効果的である	実施体制は継続する	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
前回の代表者指示事項のフォローアップ		環境経営システムの取組の継続は概ねできている		
代表者指示事項		環境経営システムの取組の継続		
代表者総合評価		<p>全体の環境経営活動は順調である。二酸化炭素排出量も前年比18%減でき目標も達成となり、活動内容は評価できる。 産業廃棄物排出量は撤去工事が今年度は少なく減少した。市外の現場があり、ガンリン使用量は増加したが燃費は向上しておりエコドライブが定着したと評価できる。環境経営システムの取組の継続に努めること。</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 原田 高幸</p>		